

令和 9 年度作手地域自治区予算事業計画（案）					別 紙
まちづくり計画の 位置付け	番号	事業（仮名）	事業概要	事業費	備考
柱 2 共に学び、育ち、人が 輝くまちづくり （共育・住民交流）	1	つくでっ子元気事業	小中学生の学習意欲の向上及び地域の人たちとの交流を図るため、スポーツ・文化・芸術の講演会、講習会、観賞会等を行う。	1,097千円	令和 9 年度に見直し
	2	保育所英語講師派遣事業	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手こども園の園児(3 歳児から 5 歳児まで)を対象に、英語の手遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。	234千円	令和 9 年度に見直し
	3	小学校英語教育推進事業	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手小学校 1・2 年生を対象に、英語遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。 また、3、4 年生の英語活動、5、6 年生の英語授業を支援するため、アドバイザーを派遣する。	915千円	令和 9 年度に見直し
	4	【新規】 つくで交流館中庭活用整備事業	つくで交流館の中庭の利用環境を改善し、来館者が気軽に利用できる憩いの場の創出、地域交流・文化活動など多目的に活用する、交流館全体の利用促進に繋げる。具体的には、①排水機能の改善、②利用環境の整備(人工芝の設置やテーブルの整備)を計画的に行う。	411千円	複数年計画
柱 3 助け合い支え合い、安 心して暮らせるまちづくり （安心・安全 防災・防犯）	5	若者定住奨励金交付事業	定住促進を図るため、作手地域自治区の区域内に転入、転居した者、及び出産した者で、住所を定めてから 3 年度が経過した 4 5 歳以下の者を対象に奨励金（いいじゃん券 19,000 円分）を交付する。	437千円	令和 10 年度に事業終了
	6	防災活動補助事業	住民による自発的かつ積極的な防災組織活動の展開を促すため、防災機材等に係る既存補助金の上乗せ補助を行い、行政区負担の軽減と、地域住民の安全安心を図る。	189千円	令和 9 年度に見直し
	7	地域集会施設整備費補助事業	自治活動又はコミュニティ活動の活性化を図るための拠点となる地域集会施設の新築、増築、改築又は改修に要する経費に対し交付する補助金の上乗せ補助を行い、行政区負担を軽減する。	2,040千円	令和 9 年度に見直し
	8	【新規】 地域活性化備品購入事業	イベント開催など作手地域のために活動する団体を応援するため、テントなどの貸出し用備品を整備する。また、整備した備品は災害時には災害用備品としても活用できる仕組みとする。	828千円	
柱 4 情報発信 （関わる人や訪れる人を増 やし、次世代へつなぐまちづ くり）	9	作手の魅力発信事業 道の駅情報館の整備	市内外から多くの観光客でにぎわう「つくで手作り村」だが、情報発信の拠点となる情報館の活用が課題となっている。 作手地域の情報発信力の強化を図るため、デジタルサイネージを設置する。また地域パンフレットを置くことができるラックを購入設置する。	340千円	令和 9 年度に見直し
	10	【新規】 観光施設整備事業 PR 看板の設置	作手地域の観光資源である山城の PR を行う。 具体的には、歴史的資産である亀山城址、古宮城址の P R 看板を、多くの観光客でにぎわう道の駅つくで手作り村の入口に設置することで、地域の魅力を来訪者に発信し、観光振興・交流人口の拡大、地域への関心向上を図る。	234千円	
【 事業費合計 】				6,725 千円	